

県道佐伯長船線 JCT (A ランプ) ほか詳細設計業務委託 (8-2) 現場説明書追加資料

1 趣旨

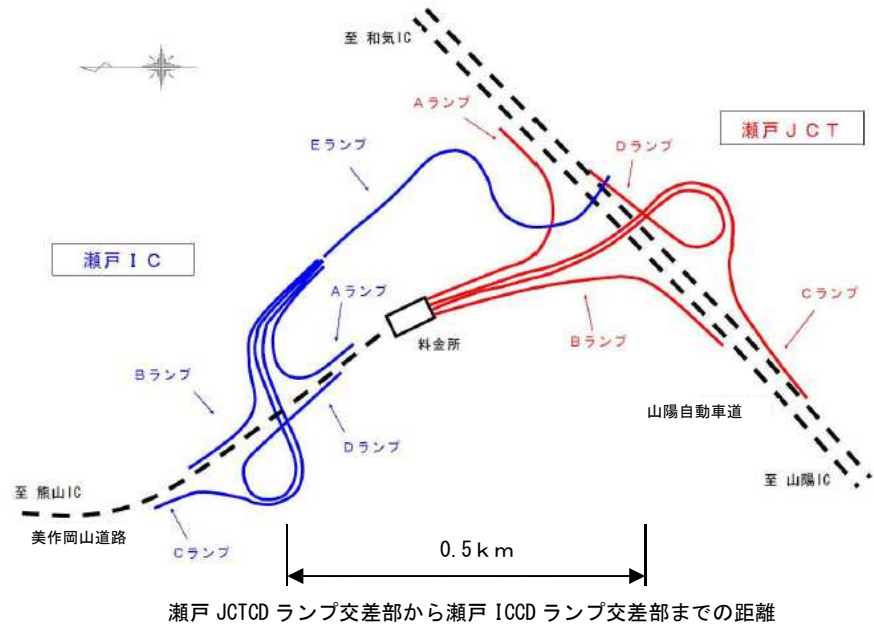
本業務は、岡山市 調査、設計、測量業務等共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）で定めるところによるほか、この現場説明書追加資料に基づき実施するものとする。

2 業務の目的

本業務は、地域高規格道路 美作岡山道路 瀬戸ジャンクション（以下、瀬戸 JCT）建設事業における施工計画の修正（下部工）、補強土壁修正設計、仮設構造物の修正等、及び橋梁下部工工事の数量とりまとめを行うものである。

3 事業計画の概要

- ・事業区間 美作岡山道路 瀬戸 JCT～瀬戸 IC L=0.5 k m



- ・構造規格 表-1 のとおり

表-1 瀬戸 JCT 及び接続道路の設計規格

路 線 名		設計規格・設計速度
山陽自動車道	本線	第 1 種第 3 級 A 規格 V=80km
	瀬戸 JCT	ジャンクション 3 級 A 規格 V=40km/h
美作岡山道路	本線	第 1 種第 3 級 V=60km/h
	瀬戸 IC	B 規格 V=30km

- ・ IC 構造型式 瀬戸 JCT：トランペット型、瀬戸 IC：トランペット型
※瀬戸 IC は暫定供用中

- ・設計対象区間 瀬戸トンネル南坑口（No.10+00）～瀬戸 JCT 各ランプテーパー端部

4 設計条件

本業務の設計に使用する技術的基準等については、次に掲げる図書へ掲載されるものの中から最適なものを適用する。

- ・岡山県土木部制定「土木工事設計マニュアル」
- ・道路構造令の解説と運用
- ・道路土工「仮設構造物工指針」
- ・道路土工「擁壁工指針」
- ・道路土工「カルバート工指針」
- ・道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ
- ・西日本高速道路㈱制定「設計要領」及び「標準設計図集」

5 設計内容

本業務の基本的な設計内容は以下のとおりである。

(1) 詳細設計

①現地踏査

設計対象範囲の現地状況を把握するため、現道及び工事進捗等の現況を確認し整理する。

②下部工施工計画検討（A-A2）

仮設土留工の設計時の取扱いに関する確認（構造形式、設計条件等）を行うとともに、下部工施工に必要となる施工方法について、現地の施工条件を考慮した施工手順、施工機械の選定などの検討を行う。

なお、仮設土留工の妥当性を照査した結果、仮設土留工の修正設計が必要と判断される場合、または現地条件の相違により、当初の施工計画の立案が不適切と判断される場合には、業務内容を変更することがある。

表-2 設計対象箇所

項目	対象橋台		既往成果の仮設土留工
下部工施工計画検討	A ランプ橋	A2	自立式

③補強土修正設計（A-A2）

道路橋示方書（平成 29 年度版および令和 7 年改訂版）の改訂に伴う橋台アプローチ部の構造について、検証結果に基づく構造への修正設計を行う。ただし、検証結果による証明が不十分と判断される場合には、業務内容を変更することがある。

④B-A2 橋台工事

別紙に示す橋梁下部工について、既往成果から、工事発注に必要な図面を整理し取りまとめ、図面と数量計算書を照合し工事発注用資料として編纂する。

橋梁下部工工事資料は、図面目次、平面図、全体一般図、橋脚構造一般図、橋台配筋図、擁壁工詳細図、土留工構造図、橋脚下部工施工要領図等、関連するすべての図面及び数量計算書とする。

なお、擁壁工については、既往成果の重力式擁壁からプレキャスト製品の活用に向けた取り組みを行うため、形式選定を含む修正設計を含むものとする。

表-6 設計対象箇所

擁壁の種別	場所	設計延長	設計区分	備考
プレキャスト L型擁壁	B-A2 橋台ノーズ部 (山陽道橋台と B-A2 橋台の間)	3m (1 断面)	基本断面	

⑤協議用図面作成 (A ランプ)

協議用図面作成は、A ランプのテーパー部付近における既往計画を対象とし、既設ボックス (山陽自動車道 (上り線) STA.171+00 付近) より終点側に位置する側道および市道をコントロールしない条件のもと、既往成果を用いて図面を作成する。

ランプ拡幅部の盛土構造については、既往成果で確定している A ランプ中心線を基準とし、土羽構造により計画する。

なお、本業務には側道および市道の付替えの概略計画を含むものとする。

(2) 仮設構造物設計

①工事用仮橋、仮栈橋詳細設計 (A-A2)

既往成果において計画されていた橋梁下部工施工用の仮栈台計画の廃止に伴い、これに代わる仮栈橋について詳細設計を行うものとする。仮設構造物の設計対象および設計区分等は、次のとおりとする。

表-5 仮設構造物の区分

仮設構造物 の種類	場所		設計計算 箇所数	設計区分	備 考
仮栈橋	A-A2	施工ヤード	1	基本構造物	平面形状は変化しない

(6) 打合せ等

①打合せ協議

打合せ協議は 3 回とし、業務着手時と成果品納品時には主任技術者が立ち会うものとする。ただし、疑義が生じた場合や、監督員が要求した場合には速やかに打合せを行うものとする。

1) 業務着手時

業務計画書を基に、業務内容、工程等の打合せを行う。

2) 中間報告時

業務の中間報告（1回を想定する）

3) 成果品納品時

最終成果内容の確認

以 上